

研究協力のお願

市立芦屋病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は下記のとおりです。本研究の対象に該当する可能性のある患者様で、測定結果を研究目的に利用または提供されることを希望されない方、あるいは研究に関するご質問は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

《研究課題名》

経腸栄養用カテーテル内の微生物汚染状況に関する検討

《研究の目的》

経腸栄養剤を投与する経路の管理において、近年、すべて単回使用とする施設が増加していますが、経腸栄養投与経路（容器、経腸ライン）は、洗浄・消毒することにより、問題となる微生物が増殖することなく投与できることが実験的に証明されています。

プラスチック問題などもあり、再利用できるものは再利用すべきであると考えていますが、誰もが「胃瘻や経鼻カテーテルの内腔は無菌ではない」ことを証明した検討はなされていません。これを証明することにより、滅菌状態の経腸栄養投与経路を使う必要はない（単回使用する必要はない）、胃瘻や経鼻カテーテルの内腔にはある程度の微生物が付着しているのだから適正に洗浄・消毒したものを使えばよい、と主張できると考えています。

そのための基礎データとして、胃瘻および経鼻カテーテルの内腔の微生物汚染状況を調査することが目的です。なお、1週間使用した経腸栄養投与ラインを用いて洗浄・消毒して経腸栄養剤を流した場合、24時間後の経腸栄養投与ラインから採取した経腸栄養剤が無菌であることは、既に証明されています。

《研究対象者》

経鼻カテーテルまたは胃瘻カテーテルを用いて経腸栄養を実施している患者様。

経腸栄養実施期間、経腸栄養剤の種類、基礎疾患、は問いません。

《研究方法・研究に使用する試料》

留置されている胃瘻カテーテルと経鼻カテーテルの内腔（カテーテルの接続部）の拭い液を、滅菌綿棒を用いて採取し、滅菌試験管に入れて、生菌数、大腸菌およびブドウ球菌の数を測定します。

個人が特定される情報の抽出はありません。

連絡先・・

病院名	市立芦屋病院
病院所在地	〒659-8502 兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町 39 番 1 号
電話番号（代表）	0797-31-2156 FAX（代表） 0797-22-8822
研究責任者	外科部長 野呂 浩史